

瀬戸内海は小豆島で  
演劇と農業を中心にした  
滞在型ワークショップを  
実践する「愚放塾」。  
その塾長である木戸佑児氏を  
招いて開催する演劇ワーク。  
本来の自分の良さに気がつき  
表現力をみがくことで  
面接、プレゼンテーション、  
コミュニケーション…… etc に  
役立てるワークショップ。

# よく生きるための 演劇ワーク

2015 / 2 / 20 (金)

15:00 - 19:00

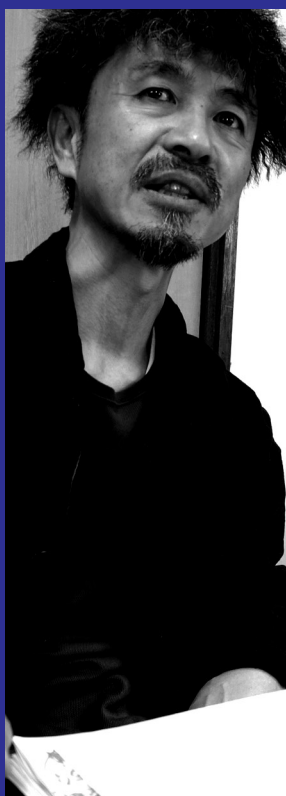
図書館2階 セミナー室

興味、関心のある方は、下記までお問い合わせください。

0985-58-7233

nina27@cc.miyazaki-u.ac.jp

安田仁奈 (TT 推進機構)



天才とは  
天から与えられた  
才能を開花させた  
人のこと。  
世の中には  
まだまだ自分を  
知らない天才が  
埋もれている。  
そんな若者たちの  
力になりたい。

— 木戸佑児氏メッセージ

木戸佑児 きどゆうじ

演劇を通してのべ600人の若者を指導。  
社会起業大学ソーシャルビジネスグランプリで  
エン・ジャパン大賞を受賞。1年間  
(株)エン・ジャパンにて面接訓練を担当。  
現在、東京から小豆島に居を移し  
「愚放塾」を運営。

1957年、山梨の農家に生まれる。  
幼少よりコンプレックスを抱えた内気な  
性格だったが、母の死を契機に25歳より  
演劇をはじめ。演劇により自分と  
向かい合い、ありのままの自分を肯定する  
ことで、劇的な自己変容を経験。

演技とは「繕った自分」を剥いでいく  
作業であるという信念をもとに中学、  
高校で教鞭をとりながら24年間、  
演劇部の顧問をつとめる傍ら、劇団を主宰。  
教職を辞した後、NHKカルチャー  
センター講師、市民演劇ワークショップを通じて  
「自己開花」教育メソッドを確立。

2007年にガンを発症。死の一步手前の  
ところで救われる。この体験が「自分が必要  
とされるところで、人や社会のために  
役立つことを精一杯したい」という思いを  
強くし、「愚放塾」を創立する原動力となる。



<http://guhoushuku.com/>